

市民の皆様の大切な税金を有効に使うために…

半田市議会 事業評価を行いました

10月に行った事業評価の審査結果及び市長からの回答の一部を公表します。

(総務委員会所管分)

個別施策名	協働に対する理解の促進
施策内容	・協働によるまちづくりの基本理念と市民協働を進めるためのルールを広め、協働に対する理解の促進に努めるとともに、市民と行政が共に考え、決定し、行動する取り組みを進めます。
行政への提言	①市民協働を進めるためのルールについて市民は十分に理解していないため、もう一度原点に立ち返り、協働に対する理解の促進に努めるとともに、市民協働の活動をさらにステップアップさせることが必要である。 ②市民協働はマンパワーであるので、人手不足を感じる市民協働課職員を増やすべきではないか。
市長からの回答	①平成30年度中に、協働事業の実践事例をとりまとめ情報共有を図ります。また、まちづくり協働フェスタ等で情報共有に努めます。予算は市民協働推進事業費で対応します。 ②今後の事業内容を精査し適正な人員配置を図ります。地域担当職員との連携を図り施策推進に努めます。

個別施策名	広報活動及び情報提供の推進
施策内容	・市政に関する情報、市民生活や市民活動に関する情報を広報紙、インターネット、ケーブルテレビなどの多様な媒体を利用し、迅速かつ詳細に提供します。 ・市政に関する情報の積極的な提供により、市政への関心と参加意識の醸成を図ります。
行政への提言	①市政に関する情報量や意識が担当部署により異なることなく、積極的な情報提供が必要である。 ②一方的な情報提供にならないように、市民がどのように受け止めているか情報をフィードバックし、発信内容や方法の改善を図る必要がある。市報においては市民が投稿できる枠組みを設けてはどうか。
市長からの回答	①それぞれの分野において、事業規模に合わせた適切な情報提供を行っていると考えています。今後も必要な情報を積極的に提供していきます。 ②市報においては、平成30年度に毎号コメントを募集する欄を設けます。

個別施策名	交通安全教育の推進
施策内容	・子どもたちを交通事故から守るため、幼稚園、保育園、小中学校、高校で交通安全教室を開催します。 ・高齢者宅を訪問し交通安全指導を実施するとともに、高齢者を対象とした交通安全教室を開催します。 ・自転車損害賠償保険等の加入、自転車交通ルールの遵守を促進します。
行政への提言	①高齢者の交通安全教室や講習は、加害者となる運転者としてのものを加え、さらに充実させる必要がある。 ②運転免許証返納推進活動を、コミュニティバス運行のタイミングにあわせて計画すること。 ③名古屋市などが行っている、自転車損害賠償保険の義務化に向けて調査すべきである。
市長からの回答	①各地域での交通安全教室等でも、運転者としてのマナーや交通ルールなどを内容に取り入れます。 ②免許自主返納の促進は交通事故を未然に防ぐ方法の一つと考え、補助等の導入について進めたい。 ③自転車損害保険の種類の把握と、近隣市町の状況について調査します。

個別施策名	時代に即した柔軟な組織づくり
施策内容	・社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対して、的確かつ柔軟に対応でき、わかりやすい組織づくりに努めます。 ・緊急の課題や総合的な課題に対してはプロジェクトチームを活用し、横断的に調整・対応します。
行政への提言	①的確に対応できる柔軟な組織体制。プロジェクトチームを活用した横断的な組織体制の確立をすること。 ②組織体制づくりやプロジェクトチームは見える化し、内規作成、経過、結果、成果などを情報公開する。 ③すぐやる課の早期設置。
市長からの回答	①今後も組織体制の編成（機構改革）を行います。チーム活用で庁内横断的な組織体制で取り組みます。 ②29年度中にプロジェクトチームの設置基準や運用方針等を作成します。 ③現在、機構に捉われない形での人事配置や業務内容を調整しています。

(文教厚生委員会所管分)

個別施策名	地域課題の共有と発掘
施策内容	・地域の福祉課題について、地域住民が中心となり、行政、社会福祉協議会、関係機関と情報共有し、問題を解決するための場である「ふくし井戸端会議」への住民参加を促進します。
行政への提言	①「ふくし井戸端会議」の参加者が固定化しているため、テーマについては世代別の課題設定をして開催し、住民参加を促進させる必要がある。
市長からの回答	①従来方式では限界を感じる地区もある為、開催方式の変更（開催場所固定、定期開催ではなく、地区特性に合わせた方式（場所、日時、内容）を工夫します。）